

「正直者は馬鹿を見ない。」

I 列王記 9 章 1～7 節

世の人々が軽くなり、簡単に嘘や誤魔化しをするようになってきました。上司や地位のある人々にへつらい、金や成功のためならば何でもするとは、どのように育ってきたのかと危うく思います。

友人が死にかかっています。食事や水もとれなくなり、点滴を勧められました。友人は「人も動物も食物や水を摂れなくなったらそれで終わりだ。天国に行くのを伸ばさないでくれ」と家族に言っています。その妻は、ご主人の世話をしながら、にこやかにその生き方を受け入れています。

その友と先週 2 回も会ってきました。人生を振り返り、神に仕えて悔いのない人生を送ってきたので、御心ならばいつでも死ぬ覚悟はできているとのことでした。死ぬ間際になつて誠実に話し合える人と分かり合えることは喜びであると言っていました。神の国への期待を強く感じました。

「正直者は馬鹿を見る」のことわざは、「悪賢い者がずる賢く立ち回って得をするのに反し、正直な者はかえってひどい目にあう」という意味です。世の中は、正直に生きてても報われない、「馬鹿正直」などとあざけります。それは、神を信じない人々の論理です。神を信じる者が、そのような感わしに乗っけてはいけません。私は感わされ破船した信仰者を多く見てきました。正直は「真実を語る」ことで、誠実は「他人や仕事に對して、まじめで真心がこもっていること」だそうです。私は、愚直（周回から愚かに見えても自分の信念を貫く）が好きです。

聖書は、「あなたは善良な人たちの道に歩み、正しい人たちの進む道を守る。正直な人たちは地に住まいを得、全き人たちは地に生き残る。」（箴言 2・20.21）、「主は正直な人のために、すぐれた知性を蓄え、誠実に歩む人たちの盾となり、公正の道筋を保ち、主にある敬虔な人たちの道を守られる。」（同 2・7.8）と言っています。神は正直な人を求めておられるのです。小知恵をもって賢しく生きるのは、神を信頼して生きていない人のすること、神の祝福は得られません。

私たちがクリスチャンらしく、正直に生きるならば、神は私たちを守り、祝福し、反映していくのです。大事なことは、この罪深い社会にあつて、神の注視を感じながら正直生きていくことなのです。神が守ってくださいることを期待して生きるのです。そしてこそ、神の国の栄光に迎

多くの人の人生の末路を見ました。巧みに自らを敬虔な者と装つても、正しく生きる者の目には、偽善は見えてしまします。神が見逃すはずがありません。欺瞞が通ると思うこと自体が、その人の不誠実を現しています。誠実に生きようと願うならば、嘘をつくことはできません。誤魔化しもできないはず。悪人や邪まな者とも同調できません。誠実に生きるとは、悪に負けない根性が必要です。

「主は天から目を注ぎ人の子らをすべてご覧になる。」主は一人ひとりの心を形造りわざのすべてを読み取る方。（詩篇 33・13.14）。

その人の主義主張、習慣や頑固さが、主の教え通りに生きることが妨げられることはよくあります。サタンの誘惑は巧妙で人の弱みに付け込みます。イエス様は「試みる者」（マタイ 4・3）の誘惑に打ち勝ちました。欲望や願望、成功などに釣られて自らを変えてはいけません。

「あなたはまた、民全体の中から、神を恐れる、力のある人たちの不正の利を憎む誠実な人々を見つけ、千人の長、百人の長、五十人の長、十人の長として民の上に立てなさい。」（出エジプト 18・21）。誠実な人でなければ、人は付いてきません。自分を正当化して、思い通りに生きようとする人がいますが、信頼してはいけません。信念と誠実さを持たず、方針や生き方を変える人は滅びていきます。

「あなたのしもべダビデの誠実な行いの数々」（Ⅱ歴代 6・42）、「ヒゼキヤについてのその他の事柄、その誠実な行い」（同 32・32）、「ヨシヤについてのその他の事柄、主の律法に記されているところに基づいた彼の誠実な行い」（同 35・26）。「私が神の宮とその務めのためにした数々の誠実な行い」（ネヘミヤ 13・14）などあり、誠実な人こそ苦難の中でも神に忠実に仕えていくのです。

自由を得た鶏が仲間から羨ましがられ、憎まれ、もはや鶏小屋に戻れなくなり、一羽小屋に住んでいることを祈禱会で話しました。私たちも、神に選ばれ、信仰の自由を得たのです。もはや中途半端に生きていくことはできないのです。

死に際して、人生を振り返り、神への献身と誠実さを確認できる人は幸いです。家族との慈しみを味わっている人は幸せです。語り合う友を得ている人は幸いです。携え上げてくださる神を期待しましょう。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讃美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讃美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

I 列王 9:1 ソロモンが、【主】の宮と王宮、および、ソロモンが造りたいと望んでいたすべてのものを完成させたとき、

9:2 【主】は、かつてギブオンで現れたときのように、ソロモンに再び現れた。

9:3 【主】は彼に言われた。「あなたがわたしの前で願った祈りと願いをわたしは聞いた。わたしは、あなたがわたしの名をとこしえに置くために建てたこの宮を聖別した。わたしの目と心は、いつもそこにある。

9:4 もしあなたが、あなたの父ダビデが歩んだように、全き心と正直さをもってわたしの前に歩み、わたしがあなたに命じたことすべてをそのまま実行し、わたしの掟と定めを守るなら、

9:5 わたしが、あなたの父ダビデに『あなたには、イスラエルの王座から人が断たれることはない』と約束したとおり、あなたの王国の王座をイスラエルの上にとこしえに立たせよう。

9:6 もし、あなたがたとあなたがたの子孫が、わたしに背を向けて離れ、あなたがたの前に置いたわたしの命令とわたしの掟を守らずに、行ってほかの神々に仕え、それを拝むなら、

9:7 わたしは彼らに与えた地の面からイスラエルを断ち切り、わたしがわたしの名のために聖別した宮をわたしの前から投げ捨てる。イスラエルは、すべての民の間で物笑いの種となり、嘲りの的となる。

列王紀上 9

耶和華的回應

1 所羅門建完了耶和華的殿和王宮，以及所羅門想要建造的一切，之後

2 耶和華第二次向所羅門顯現，就像從前在基遍向他顯現那樣。

3 耶和華對他說：

「我已經垂聽你在我面前所做的禱告和懇求，把你建造的這殿宇分別為聖了，好使我的名永遠安置在那裡，我的眼、我的心也必終日在那裡。

4 至於你，如果你像你父親大衛所行的那樣，以正直、純全的心行走在我面前，遵行我所吩咐你的一切，謹守我的律例和法規，

5 我就堅立你的王位，使你永遠統治以色列，正如我向你父親大衛所應許說的：

『你的子孫中，就不會斷絕人坐以色列的王位。』

6 但如果你們和你們的子孫執意轉離不跟從我，不遵守我在你們面前賜下的誡命和律例，去服事別的神，向它們下拜，

7 我就把以色列人從我所賜給他們的這地面上剪除，並且把我為我名所分別為聖的這殿宇從我面前丟棄，以色列將在萬民中成為笑柄，被人諷刺。